

# Press Release



<<報道資料>>

2013年2月4日

日本コンピュウェア株式会社

## コンピュウェア、2013年における APM トレンド予測と APM ベストプラクティスを発表

**新世代APM(アプリケーションパフォーマンス管理)は、「ツール」から進化し、  
ビジネスを成功に導くための必須アイテムへと変貌**

※当資料は、コンピュウェア コーポレーションが米国時間 2012 年 12 月 17 日および 2013 年 1 月 16 日に発表した報道資料をまとめたものです。

米国ミシガン州デトロイト - コンピュウェア コーポレーション(NASDAQ: CPWR)は、2013 年の APM(アプリケーションパフォーマンス管理)のトレンドに関する予測を発表しました。APM は経営幹部にとって新たな必須条件となりつつあり、IT 制御における最重要課題です。企業にとっては、パフォーマンスや可用性、そしてビジネスクリティカルなアプリケーションの価値を確約する存在であると言えます。

Gartner, Inc.によれば、APM は IT 業務において主要な問題となっています。同社は世界における APM ソリューションへの出費が、2011 年の 20 億米ドルに対し 2012 年末までに 21 億 4,000 万米ドルに達すると予想しています。デジタル化が進む今日のビジネス環境では、APM は、2013 年においても引き続き、企業の IT 戦略において主導的な役割を担うことになります。そこでコンピュウェアは、2013 年における APM トレンドのトップ 5 を以下のように予測しています。

### ・予測 1

#### ビジネスクリティカルなアプリケーション管理における複雑さが度合いを強める

クラウド、データセンター、インターネットの拡大により IT インフラは複雑化しており、アプリケーションデリバリーチェーン全体を統合的にリアルタイムに可視化する新世代 APM の必要性がさらに高まります。新世代 APM により、企業はアプリケーションパフォーマンスの最適化を一貫して行い、ユーザーに悪影響を及ぼすパフォーマンス問題を防ぐことができるようになります。

### ・予測 2

#### APM 戦略においてはパフォーマンス分析が必須条件となる

システムで処理されるデータ量は膨大なものになっていますが、データ収集能力を高めるのはもちろん、分析を自動で行い、問題に対処する実用的な情報を提供する機能が必要となります。ビジネスオーナーは、システムの状態を迅速に把握することにより、アプリケーションがビジネス目標達成するための支援を効率的に行うことが可能となります。

- ・予測 3

モバイルの急増がモバイルアプリケーションをベースとしたビジネスを促進する

モバイルアプリケーションはさらに成熟し、金融サービスから e コマースまで、多くの市場において主要なアクセス手段となっており、エンドユーザーのパフォーマンスに対する期待も、さらに高まるものと予想されます。新世代 APM は、複雑化したモバイルアプリケーションインフラを最適化し、急激に変化する環境の中で企業の競争力を維持することができるでしょう。

- ・予測 4

APM はビッグデータの戦略的コンポーネントとなる

データ量、多様性、速度、複雑さが増す中で、企業における分析には新たなアプローチが求められています。新世代 APM のビッグデータ環境への統合により、パフォーマンス、可用性、スケーラビリティが低下するリスクやそれに伴うコストを抑えたいと考える企業にとって、ベストプラクティスを得ることができるでしょう。

- ・予測 5

ライフサイクルアプローチにより、DevOps やアジャイルオペレーションの採用が加速する

DevOps やアジャイルが普及する中、より多くの企業が APM にライフサイクルアプローチを採用するようになるでしょう。ライフサイクルアプローチにより、時間を浪費する冗長なタスクは自動化され、縦割り型のビジネスプロセスは劇的に改善されます。結果として、パフォーマンスは改善し、新機能のリリースは短縮し、テスト段階で事前に問題を取り除くことが可能となります。

また、コンピュウェアは、このようなトレンドを受け、APM の最新ベストプラクティス集の第一巻「2013 年の APM 最新事情とトレンド」(2013 年 1 月現在 英語のみ)を発表しました。このベストプラクティス集により、IT 部門はもちろん、ビジネスオーナーも APM 関連テクノロジーのトレンドを理解し、APM を自社のビジネスに有効活用する方法を学ぶことが可能となります。

同書で取り上げるトピックは以下の通りです。

- ・ユーザーデバイスからクラウドにいたるまで、複雑化したアプリケーションインフラの管理
- ・APM を組織内で定着させるための要件トップ 10
- ・劣悪なユーザ一体感がもたらす財務的損失の定量化
- ・実ユーザー監視をめぐる神話と現実
- ・ビッグデータ導入の実際からの教訓

コンピュウェア APM ビジネスユニットのゼネラルマネージャである John Van Siclen は次のように述べています。

「アプリケーションパフォーマンス管理の分野は、2013 年もまた加速度的な変化に直面することとなるでしょう。特に、ブランドやロイヤリティ、そして売上や収益に関心を寄せる経営幹部は、新世代 APM の動向に注目せざるを得ません。アプリケーションがより複雑になるだけでなく、クラウドやビッグデータといったダイナミックな環境が主流となり、モバイルアプリケーションをベースとしたビジネスが促進され、アプリケーションのリリースサイクルは短縮化されるでしょう。従来の APM ツールから最先端の APM システムに移行し、アプリケーションパフォーマンスの管理と最適化を行うことが、競合優位を目指す企業にとって必要不可欠な条件となるはずです」

Compuware APMは、Web、非Web、モバイル、ストリーミング、クラウドアプリケーションといった様々なアプリケーションのパフォーマンス最適化を実現する業界屈指のソリューションです。エンドユーザ一体感に基づき、ユーザーが利用するプラウザから、クラウドを通じてデータセンターにいたる、アプリケーションデリバリーチェーン全体の統一ビューを提供します。

コンピュウェアは、全世界で4,000以上の顧客企業が存在し、[Gartner『Magic Quadrant for Application Performance Monitoring \(APM\)』](#)において、「リーダー」に位置づけられています。詳しい報告書はこちらから参照できます：<http://bit.ly/q5jKi7>（英文のみ）

コンピュウェアは、Twitter、Youtube、Facebookなどからも情報を配信しています。

- ・<http://twitter.com/compuware>（米国本社アカウント：英語）
- ・[http://twitter.com/compuware\\_japan](http://twitter.com/compuware_japan)（日本コンピュウェアアカウント：日本語）
- ・<http://www.youtube.com/user/Compuware>（米国本社アカウント：英語）
- ・<http://www.facebook.com/Compuware>（米国本社アカウント：英語）
- ・<http://outageanalyzer.com/>（Outage Analyzer：英語）
- ・<http://www.cloudsleuth.net/>（CloudSleuth：英語）

## ■ コンピュウェアコーポレーションについて

コンピュウェアは、'The Technology Performance Company'として、ITが問題なく稼働し、ビジネスに貢献するための、ソフトウェア、エキスパート、ベストプラクティスを提供します。コンピュウェアのソリューションは、全世界のリーディングカンパニーがITを最大限活用できるように支援しています。これらのリーディングカンパニーには、Fortune 500 上位 50 社のうち 46 社や、米国の Web サイト企業上位 20 社のうち 12 社が含まれています。

- ・米コンピュウェアコーポレーション <http://www.compuware.com>（英文）
- ・日本コンピュウェア株式会社 <http://compuware.co.jp/>

## ■ お問い合わせ先

- ・報道関係の方

日本コンピュウェア株式会社広報事務局（株式会社ジャパン・カウンセラーズ内）

TEL:03-3291-0118、Email:[compuware@jc-inc.co.jp](mailto:compuware@jc-inc.co.jp)

- ・Compuware APM ソリューションをご検討の方

日本コンピュウェア株式会社営業部代表

TEL:03-5473-4531、Email:[marketingjapan@compuware.com](mailto:marketingjapan@compuware.com)

※記載されているすべての製品名および会社名は各所有者の商標です。